

もしもの時の【アクションカード】って？

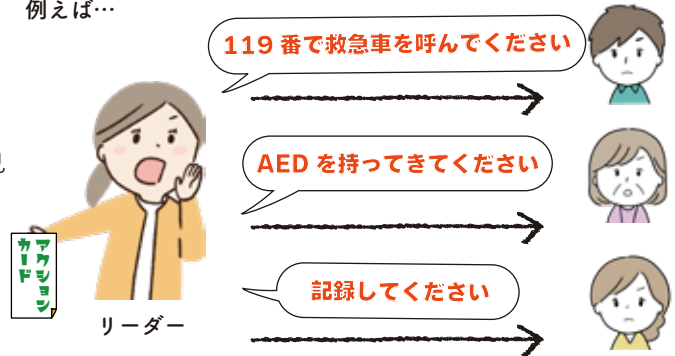
保育園で子どもが突然倒れた場合、最初にどのような行動を取るべきでしょうか？

緊急時には即座の判断と行動が求められます。看護師や担任だけでなく、スタッフ全員が協力し、迅速かつ的確に対応することが重要です。「アクションカード」とは、緊急時にスタッフが一丸となり、不備が無く迅速かつ適切に対応するための補助的なカードです。

リーダーと役割分担

緊急時にチームが連携して対応するためには、各人が何を行うべきかを明確にすることが必要です。第一発見者がリーダーとなり、アクションカードを活用して各スタッフに対し優先度の高い行動から順に役割を割り当てます。また、対応に不備がないように役割のチェックも行います。

例えば…



①リーダー

- ・ 役割の依頼
- ・ チェック
- ・ 職員への情報共有

②手当の実施

- ・ 心肺蘇生
- ・ AED操作
- ・ 止血など

③連絡

- ・ 119番通報
- ・ 保護者への連絡
- ・ 緊急を知らせる園内放送

④記録

- ・ 救急隊に伝える内容（発生の様子、処置内容、経過、傷病者の情報など）を記録
- ・ 救急隊への引継ぎ

役割の一例

⑤救急車の誘導

- ・ 救急車と救急隊が現場へ迅速に到着できるように整備、誘導する

⑥園児の対応

- ・ 周囲の園児を安全な場所に誘導し、対応する

⑦現場に集める

- ・ 手当てに必要なものを現場に集める（例：AED、ガーゼや三角巾、エビペ、冷却材や保温するもの、骨折の固定副子など）

⑧情報収集

- ・ 園児の情報（名前、生年月日、病歴やアレルギー歴など）
- ・ 保護者の連絡先
- ・ 事故発生の状況や経過

※少人数で対応する場合であっても、優先度の高い行動から順に役割を実行します。



※アクションカードのイメージ

アクションカード

アクションカードには、役割ごとに優先順位の高い行動を記載します。これにより、混乱した状況でも各スタッフが冷静に対応できるようになります。時間帯やスタッフの人数、場所が異なっても、アクションカードはいつでも同じレベルの対応ができる助けとなるものです。

アクションカードの注意点

アクションカードは、単に作成するだけでは意味を持ちません。繰り返し訓練を行い、初動の対応力を高めることが重要です。その助けとなるものの1つにアクションカードの活用があります。アクションカードを利用しつつ、現場に合った臨機応変な対応をしていくことが大切です。

（記事監修：順天堂大学病院前救護研究会 橋口尚幸）